

管理 No, 20LD-0268

2020年3月31日

ラピスセミコンダクタ株式会社
LSI 開発本部 MCU 開発推進部
マーケティングチーム

オンチップエミュレータ (nanoEASE) の製造販売終了について

拝啓

貴社ますますご清栄の段、お慶び申し上げます。

日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、これまで発売してまいりました nanoEASE は 9 月 30 日をもって製造販売を終了いたしますこと、ご案内申し上げます。今後は EASE1000 V2 をご利用いただきたく存じます。なお、移行についてのご案内は別の資料にて詳細をご説明いたします。誠に恐縮ですが、何卒ご理解をお願いいたします。

敬具

記

1. 対象機種 :

nanoEASE

2. 最終注文受付 :

2020年9月30日

3. 対応方法 :

最終注文受付を過ぎても、お客様がお使いの nanoEASE はそのままご利用いただけます。

拡張や破損等またはメンテナンスなどで置き換えが必要になった時点で EASE1000 V2 へ移行してください。

nanoEASE を継続してお使い続ける場合、後述の「4.ソフトウェア開発ツールについて」に記載のソフトウェア開発ツールをご使用ください。

EASE1000 V2 に置き換える場合は、別途ご案内の「nanoEASE から EASE1000 V2 へのオンチップエミュレータ移行について」を参照いただきたく存じます。

4. ソフトウェア開発ツールについて：

下記用途において nanoEASE をお使い続ける場合、以下に示すソフトウェア開発ツールをご使用ください。

用途	対応方法
開発（デバッグ）	nanoEASE を用いてデバッグする際は、DTU8 デバッガをご使用ください。
書き込み工程	nanoEASE を用いてフラッシュ書き込みをする際は、FWuEASE フラッシュライターをご使用ください。 FWuEASE は旧バージョンのフラッシュライターです。サポートサイトのソフトウェアツールの旧バージョンに掲載しているインストーラでインストールしてご使用ください。

5. お問い合わせ：

本件についてのお問い合わせは、担当のローム営業マン、商社、または、以下のサイトからお願いします。

https://www.lapis-semi.com/ssl/mylapis/inquiryMC_J.html

以上

管理 No. 20LD-0271

2020年3月31日

ラピスセミコンダクタ株式会社
 LSI 開発本部 MCU 開発推進部
 マーケティングチーム

nanoEASE から EASE1000 V2 へのオンチップエミュレータ移行について

拝啓

貴社ますますご清栄の段、お慶び申し上げます。

日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、nanoEASE 製造販売終了にともない EASE1000 V2 へ移行されるお客様に向けて下記の通りご案内いたします。誠に恐縮ですが、何卒ご理解をお願いいたします。

敬具

記

1. 対象機種：

nanoEASE

2. 対応方法：

後述の「3. 対応機種」以降をお読みいただき、現在ご使用の環境で置き換えできるところをご確認いただいた上で EASE1000 V2 をご購入し、置き換えをお願いいたします。

3. 対応機種：

nanoEASE、EASE1000 V2 の対応機種は次の通りです。nanoEASE で対応していた機種は EASE1000 V2 ですべて対応できます。

	ML610Q11x ML610Q172 ML610Q173 ML610Q174 (U8)	ML610Q10x ML610Q178 ML610Q380 (U8)	ML610Q304 ML610Q359 ML610Q360 ML610Q419 (U8)	ML610Q400(*) ML610Q700 (U8) * ML610Q419 を除く	ML620Q100 ML620Q400 ML620Q500 (U16)	ML62Q1000 (U16)
nanoEASE	✓	—	✓	—	✓	—
EASE1000 V2	✓	✓	✓	✓	✓	✓

✓：接続可能

4. フラッシュライタ（MWU16、FWuEASE）との組み合わせ：

FWuEASE で EASE1000 V2 はご使用いただけませんので、MWU16 をご使用ください。

MWU16 は、弊社のサポートサイトから最新の開発環境（U8/U16 Development Tools）をダウンロードいただき、バージョンアップすることでインストールされます。

	MWU16	FWuEASE
nanoEASE	－	✓
EASE1000 V2	✓	－

✓：接続可能

5. 外形、コネクタ類：

EASE1000 V2と nanoEASE の外形は異なりますが、ターゲットボードのコネクタ位置、端子並びとも差異はありません。

項目	nanoEASE	EASE1000 V2
インターフェース コネクタ	14ピン 2.54mm ピッチコネクタ 適合コネクタ：HIF3FC-14PA-2.54DSA	

6. 端子名称：

nanoEASE、EASE1000 V2 で端子名称が異なります。

ご利用前に EASE1000 V2 ユーザーズマニュアルで、端子名称、端子機能を確認ください。

ピン No.	nanoEASE	EASE1000 V2	説明
3	N/C	V _{PP}	EASE1000 V2 ではターゲット LSI フラッシュメモリ書き込み用電源として、この端子から供給します。nanoEASE からの置き換えの場合、この信号をターゲット LSI に接続する必要はございません。
5	RESET_N	RST_OUT/SCK	端子名称は異なりますが、これまでの nanoEASE と同じ接続で問題ありません。
7	TEST	SDATA	端子名称は異なりますが、これまでの nanoEASE と同じ接続で問題ありません。

7. ターゲット LSI への供給電圧 :

nanoEASE は、EASE1000 V2 とターゲット LSI への供給電圧が異なります。お客様の基板書き込み装置に影響がないかご確認ください。

項目	nanoEASE	EASE1000 V2
ターゲット LSI プラス側電源 (VTref) 電圧	3.3V	1.6V~5.5V
ターゲット LSI 動作電圧		

8. ターゲット LSI との接続 :

nanoEASE、および EASE1000 V2 で端子並びは同じですが、お客様の基板書き込み装置での寄生容量や抵抗の影響がないかなどをご使用のターゲット LSI のユーザーズマニュアルでご確認ください。

9. お問い合わせ :

本件についてのお問い合わせは、担当のローム営業マン、商社、または、以下のサイトからお願いします。

https://www.lapis-semi.com/ssl/mylapis/inquiryMC_J.html

以上